

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立第十二中学校 校長 千葉 千登勢

1 学校教育目標

人権尊重の精神を基調とし、広い視野と深い知識、思いやりの心と規範意識をもった、心身ともに健康な中学生の育成

生徒行動指針「自ら学ぶ」「思いやる」「鍛える」

2 現状の学校図書館の課題

- ①蔵書構成割合において、9類が多くを占め、他類が基準を下回っている
- ②学校図書館を全く利用しない生徒が一定数いる

3 今年度の学校図書館の重点目標

- ①学校図書館を「読書・学習・情報センター」として利活用するよう推進を図る
- ②生徒の読書活動を支援し、様々な情報を効率的に駆使できるよう指導する

4 今年度の重点的な取組

- ①調べ学習等でインターネットのみの情報収集にならないよう図書利用を推進する
- ②授業や課題に必要な資料収集において、図書利用につながるアプローチをする

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	①情報を整理して書こう ②多様な方法で情報を集めよう ③説得力のある構成を考えよう
社会	①身近な地域の調査 ②地域の在り方 ③私たちと国際社会
英語	①Think Globally, Act Locally ②Universal Design ③Be Prepared and Work Together
理科	①生物の観察と分類のしかた ③宇宙の広がり
保健体育	①②③健康な生活と疾病の予防

実践の評価

図書を教材として活用できる単元において、学校図書館と連携しながら授業に取り組むことができた。ただし、授業の進度の都合上、デジタル学習基盤を利活用した単元もあった。

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

読書時間の確保

(2) 主な行事等の取り組み

- ①しおりキャンペーン（9～10月）
- ②さくらキャンペーン（2～3月）

(3) 図書委員会などの取り組み

- ①おすすめ本を昼放送で紹介（随時）
- ②おすすめ本の巨大ポスターを掲示（年2回）

(4) 環境整備の取り組み

- ①返却ポストを常時配置し、返却遅延を防止する
- ②蔵書点検を毎年実施し、不明紛失本を明確にして処理する

(5) 司書・外部との連携

- ①年度初めに学校図書館オリエンテーションを実施する
- ②調べ学習をはじめ、授業に必要な資料について情報交換する
- ③必要に応じて公共図書館からの団体貸出を利用する

実践の評価

- (1) 朝読書の時間を確保し、年間通して読書に親しむ姿勢を育むことができた。
- (2) 図書館キャンペーンを実施し、生徒が興味をもって参加していた。
- (3) 図書委員会の取組は例月の専門委員会の活動を活用し、充実していた。
- (4) 図書の扱いは非常に丁寧に行われていた。
- (5) 司書が積極的に図書館の利活用を促進していた。

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	図書館の基本的な利用の仕方、調べ方を身につけ、読書をととして豊かな心を育てる	①学校図書館オリエンテーション受講率100% ②生徒の年間平均貸出冊数5冊以上	<u>A</u>
②	読書の幅を広げ、進んで図書館を利用できる態度を培い、資料や情報を集めて活用できる	①探求授業を各学級1回以上実施 ②生徒の年間平均貸出冊数6冊以上	<u>B</u>
③	主体的に図書館を利用し、適切な資料や情報の収集ができ、読書をととして広い視野を身につける	①探求授業を各学級2回以上実施 ②生徒の年間平均貸出冊数7冊以上	<u>C</u>

8 学校図書館全体に関する自己評価

学校司書が積極的に情報発信してくださったり、図書委員会の活動でも様々な点で便宜を図ってくださったりしたおかげで、読書に親しもうとする生徒が増えた。昼休みや放課後の開館時間帯には、多くの生徒の姿を見ることができた。本校の学校図書館は充実した活動を行うことができている。しかし、インターネットの活用が当然の現在の生徒たちにおいて、学校図書に触れ合おうとする意識は今後も低下することが見込まれる。図書の良さを発信し、読書に親しむ姿勢を育てていきたい。